

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	冷えた早朝の交通事故現場で足をとられ転倒しそうになった事例
3. 体験した事例の中心的要素	冷え込んだ早朝の「車両 8 台による多重衝突事故」で救急出動、現場までの路面は乾燥状態。現場到着時、乾燥していると判断し、救急車から降りて現場把握と負傷者確認移動のため移動した時に足をとられ転倒しそうになった。
4. 体験した事例の原因・理由	冷え込んだ早朝の「車両 8 台による多重衝突事故」で、現場が一級河川の橋の上での事故であった。車内からは乾燥しているように視認されたが、現場の地形等の状況や気象状況により凍結状態になっていることを考慮した判断ができなく、危険意識の欠如があったので転倒しそうになった。隊員に即注意するよう指示をした。 なお、路面には塩化カリウムの散布処置が施されていなかった。

【体験した事例の直接的原因について】

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

.....

1. 発生日時	平成 7 年 12 月 15 日 午前 7 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：一級河川の橋の上
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	転倒、
7. 事例体験時の活動	救急、現場活動初期、 []
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	その他：交通事故現場で、救急車から降りて現場把握と負傷者の確認移動時
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ
